

7 医大病号外
令和7年9月19日

原子力施設立地・隣接道府県
原子力災害医療（被ばく医療）機関の長 様

公立大学法人福島県立医科大学
高度被ばく医療支援センター長
(公 印 省 略)

令和7年度第3回甲状腺簡易測定研修（水戸医療センター）の開催に
ついて（通知）

日頃から当センター業務に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

原子力規制委員会から高度被ばく医療支援センターの指定を受けている量子科学技術研究開発機構、弘前大学、福井大学、広島大学、長崎大学、福島県立医科大学の6機関では、「甲状腺簡易測定研修」を開催することとなっております。

本年度第3回目は、独立行政法人国立病院機構水戸医療センター様のご協力のもと、下記のとおり開催することとなりました。

つきましては、貴機関内で広くご周知いただき、受講希望者の受講について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 日程

（集合研修）令和7年12月11日（木）14：30～17：40

（eラーニング）令和7年11月17日（月）～12月10日（水）

2 場所

独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター

（茨城県東茨城郡茨城町桜の郷 280）

3 申込

被ばく医療研修ポータルサイトからお申し込みください

4 申込期間

令和7年9月19日（金）～ 10月31日（金）

5 その他

（1）旅費は本学の旅費規程に従ってお支払いいたします

（2）受講対象者など詳細は別紙「募集要項」をご確認ください

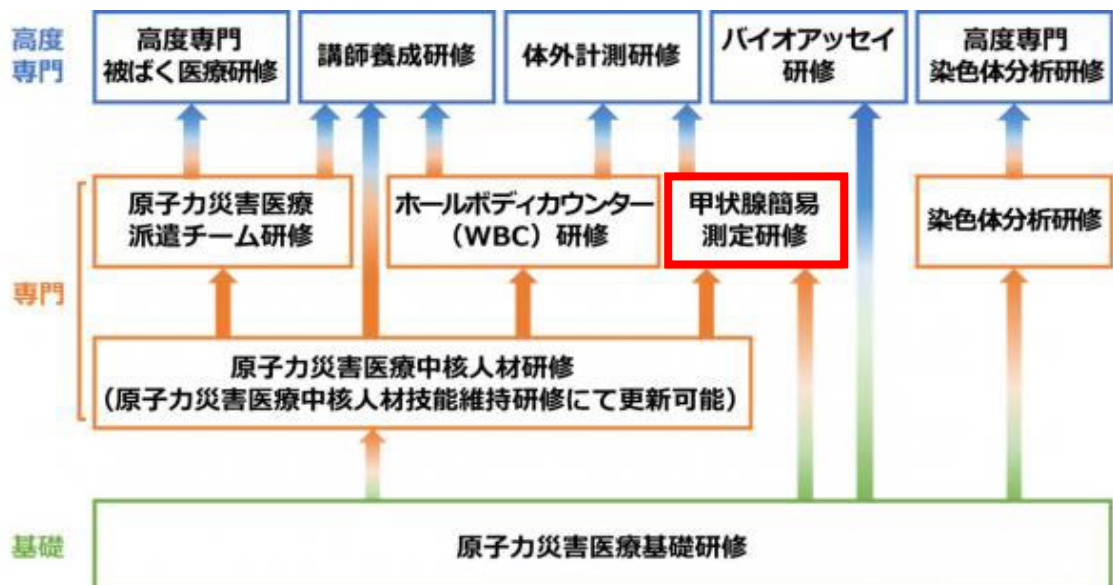
（事務担当 災害医療部事務部 主事 佐藤 恭紀 電話 024-547-1541）

令和7年度第3回甲状腺簡易測定研修（水戸医療センター） 募集要項

本案内は、原子力規制庁の令和7年度原子力災害対策事業費補助金（原子力災害医療実効性確保事業）の一環として、福島県立医科大学が開催する第3回目の「甲状腺簡易測定研修」のご案内となります。今回は国立病院機構水戸医療センター様のご協力のもと、水戸医療センターを会場に開催いたします。

本研修は、甲状腺簡易測定を行う担当者の養成を目的としており、原子力災害時に放射性ヨウ素が環境中に放出された場合に備え、周辺住民等の甲状腺簡易測定を迅速に実施できる体制整備の一環として開催するものです。

令和3年度に原子力災害医療に関する研修は新たに体系化され、基礎→専門→高度専門へとステップアップ方式で行われることとなりました。このことにより、本研修を受講するためには、原子力災害医療基礎研修、原子力災害医療中核人材研修、原子力災害医療中核人材技能維持研修、甲状腺簡易測定研修のいずれかを修了し、有効期限内の修了証を有していることが必要となります。（下図参照）



1 目的

NaI（TI）サーベイメータを用いた甲状腺簡易測定方法の習得

2 対象者

以下の（１）、（２）の両方を満たす方

- （１）原子力施設立地・隣接道府県の、原子力災害拠点病院、原子力災害医療協力機関等で、原子力災害時に周辺住民等の甲状腺内部被ばくの簡易測定を担当される方、またはその可能性がある方（医師、看護師、診療放射線技師、薬剤師、事務職員等）

※補足１：原子力施設立地・隣接道府県（保健所等）の職員であって甲状腺の被ばく線量モニタリングを担当する方も含む

※補足２：原子力災害医療協力機関においては、B要件（国または立地道府県等からの指示に基づき、避難住民等に対し甲状腺被ばく線量モニタリングを実施することができる測定要員を保有し、その派遣体制を有すること）の機能を登録している機関または今後登録を行う予定の機関

(2) 原子力災害医療基礎研修、原子力災害医療中核人材研修、原子力災害医療中核人材技能維持研修、甲状腺簡易測定研修のいずれかを修了し、有効期限内の修了証を有する方

※これらの修了資格がなく、これから新たに受講する場合は、これらの研修修了後に本研修の e ラーニングを受講していただきますので早めの受講をお願いいたします

3 募集人員及び研修期間

募集人員 20 名程度

研修期間 (集合研修) 令和 7 年 12 月 11 日 (木) 14 : 30 ~ 17 : 40

(e ラーニング) 令和 7 年 11 月 17 日 (月) ~ 12 月 10 日 (水)

4 実施場所

独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター

(〒311-3193 茨城県東茨城郡茨城町桜の郷 280)

5 研修内容

当日の研修プログラムについては、別紙「時間表」のとおり

なお、以下の講義は事前 e ラーニングで実施いたします

- ・ 講義 1 「原子力災害対応」
- ・ 講義 2 「甲状腺簡易検査」

※受講方法等は受講決定通知時に改めてお知らせいたします

※これらの講義を含め全ての講義と実習を受講することで研修修了となります

なお、受講期間内に e ラーニングを受講完了できなかった場合、対面研修は受講できません

6 受講料

無料

※本研修は原子力災害時の医療体制整備に資するため、原子力規制庁からの補助金事業の一環として実施されます

7 交通費・宿泊費について

本学の旅費規程に従い、交通費及び宿泊費を支給いたします。支給詳細については受講決定通知時にお知らせいたします

8 受講申込

申込期間：令和 7 年 9 月 19 日 (金) ~ 10 月 31 日 (金)

申込方法：被ばく医療研修ポータルサイトからお申し込みください

(別紙「入力操作の手引き」参照)

被ばく医療研修ポータルサイト URL <https://retms.nirs.qst.go.jp/>



9 受講決定通知

- ・ 研修開始日の 4 週間前までに本人宛に結果をメールで通知します。なお、研修開始日の 3 週間前を経過しても受講決定通知が届かない場合は下記問い合わせ先までご連絡ください。
- ・ 応募者多数の場合には受講人数を調整させていただくことがあります。受講決定は先着順ではありません。

- ・受講決定者には経費支払いに関する書類や研修日程等、受講に必要な情報を通知します。
- ・受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は、受講決定を取り消す場合があります。

10 問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
公立大学法人福島県立医科大学附属病院
高度被ばく医療支援センター（災害医療部内）
電話：024(547)1541
FAX：024(547)1543
メール：saigai@fmu.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際してご記入いただきました氏名、住所、口座番号等の個人情報は、本学の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、原子力災害対策指針に基づく原子力災害時における医療体制等の整備に向け、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁及び他の高度被ばく医療支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務のため

※ 被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

また、本研修の受講を申し込んだことにより、eラーニングシステムのサイトポリシー（<https://rem-elearning.nirs.qst.go.jp/pages/738>）を了承し、同システムに個人情報を登録することに同意したとみなします。

令和7年度 第3回 甲状腺簡易測定研修 時間表

期間：令和7年12月11日(木)

実施：公立大学法人福島県立医科大学 高度被ばく医療支援センター

場所：独立行政法人国立病院機構水戸医療センター

時 間		形式	講義タイトル
14:10 - 14:30	0:20		受 付
14:30 - 14:40	0:10		開講式
14:40 - 15:10	0:30	講義	話題提供
15:10 - 15:20	0:10	実習	実習ガイダンス
15:20 - 16:20	1:00	実習	甲状腺簡易測定実習
16:20 - 16:30	0:10	実習	甲状腺簡易測定実習答え合わせ
16:30 - 16:40	0:10	休 憩	
16:40 - 17:30	0:50	机上演習	グループワーク
17:30 - 17:40	0:10		研修全体のまとめ、質疑応答、閉講式

(注) 講義の一部はeラーニングで実施します。講義を含む全ての内容を受講して研修修了となります。
時間表は随時見直されていますので、若干の変更があることをお含みおき下さい。
講義及び実習は予定より延びることがありますので、ご承知おき下さい。